

ビオトープだより第50号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。



特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 自然環境復元学会・日本ビオトープ協会 合同シンポジウム 「ネイチャーポジティブによる地域創発」 次世代のための自然再生と持続可能な地域づくり 参加報告 副会長、関東地区委員長、主席BA (株)砂押園芸 砂押一成

去る2月21日(金)、昨年に続き日本大学理工学部駿河台校舎にて開催された、合同シンポジウムに参加してきました。

久郷協会長の挨拶、コーディネーター田島氏の趣旨説明の後、各団体1名ずつの特別講演が行われました。当協会からは砂押が実務者の立場で事例発表させていただき、学会からは矢ヶ崎朋樹氏の研究者視点からの講演がありました。

第2部の登壇者によるパネルディスカッションでは、会場やリモート参加者からも含め、テーマについて活発に意見が交わされました。

会場には学会員、協会員の方はもちろん、学生の姿もみられました。Zoom参加も含めて100名以上のご参加をいただき、盛況の裡に終了しました。

本シンポジウムは本年度で二回目、今後も継続し、ますます盛り上がることを期待します。以下、写真にて会場の雰囲気を紹介させていただきます。



久郷会長挨拶の様子



趣旨説明: 田島氏

自然環境復元学会・日本ビオトープ協会 合同シンポジウム
ネイチャーポジティブによる地域創発
次世代のための自然再生と持続可能な地域づくり

開催日時: 2025年2月21日(金) 13:00~15:00
講演会場: 日本大学理工学部駿河台キャンパス

自然環境復元学会は、生物や生態系、土壌分野のほか、森林水産、気候変動分野、さらには数値・AI・データ分析分野における研究や実践、それらの統合的な協力や実務のあり方を模索し、自然豊かな明日への一歩を踏み出す。

■企画趣旨
2022年12月に生物多様性条約締結国196(197)国で、2024年までの「ネイチャーポジティブ」(自然創発)に向けた国際目標が採択された。その中で、本シンポジウムでは、「ネイチャーポジティブによる地域創発」について、「環境再生・復元」に加え、「ゼロ・カーボン」「サイバーセキュリティ」の3つの観点から、実務と向き合い、学びあいが期待される。また、「環境」と「調性」の両面から考えられる。

■会場
日本大学理工学部駿河台校舎タワースコラ S204 教室

■参加費: 無料(申込不要)
Zoomによるオンライン配信有り
会場参加費: 会場参加費: 会場参加費: 会場参加費

■講演者紹介
砂押 一成 (すなおし かずなり)
- 代表、主席
- 一般社団法人 環境共創実務者会 代表理事
- 株式会社環境共創 代表取締役
- 一般社団法人 環境共創 代表理事
- 株式会社環境共創 代表理事

■講演者紹介
矢ヶ崎 朋樹 (やがさき ともき)
- 一般社団法人 環境共創 代表理事
- 株式会社環境共創 代表取締役
- 株式会社環境共創 代表取締役
- 株式会社環境共創 代表取締役

■コーディネーター紹介
田島 洋輔 (たじま ようすけ)
- 一般社団法人 環境共創 代表理事
- 日本大学理工学部 環境共創実務者会 代表理事
- 株式会社環境共創 代表取締役
- 株式会社環境共創 代表取締役

■プログラム内容
- 特別講演 (各 35分) > 日本大学理工学部 環境共創実務者会 代表理事 砂押 一成
- 特別講演 (各 35分) > 株式会社環境共創 代表取締役 矢ヶ崎 朋樹
- パネルディスカッション (30分) > テーマ: 「ネイチャーポジティブによる地域創発」
- コーディネーター 田島 洋輔
- コーディネーター 砂押 一成、矢ヶ崎 朋樹

広報フライヤー



講演状況: 砂押



講演状況: 矢ヶ崎氏



パネルディスカッションの様子



会場の様子



学生研究の表彰の様子

以上